

[成果情報名] 県内コロニー周辺におけるカワウ胃内容物調査結果

[要 約] 県内コロニー周辺において駆除されたカワウの胃内容物調査を実施したところ、魚類で最も多く観察されたのはウグイであり、ついでフナ・コイ類であった。

[部 署] 山形県内水面水産試験場・資源調査部

[連絡先] TEL 0238-38-3214

[成果区分] 研

[キーワード] 鳥獣被害、カワウ、胃内容物調査

[背景・ねらい]

全国でカワウ被害が増加する中で、どのような魚類が捕食されているか調査することは被害防止や被害規模をはかる観点から重要である。そこで、県内のコロニー周辺でカワウ胃内容物調査を実施することとした。

[成果の内容・特徴]

1. サンプルの採取 2015年および2016年春期(3月から5月)に須川コロニー(山形市船町)周辺で駆除されたカワウを解剖し、胃15個体分を95%エタノールにて液浸固定した。なお、2016年5月10日のサンプルは胃サンプルではなく、カワウが吐き出した魚類を拾い、固定したものである。水窪ダムコロニー(米沢市万世町)周辺においても胃13個体分について同様に液浸固定した。
2. サンプルの解剖 固定液から取り出した胃の重量を測定したのちに、上端と下端からハサミを入れ、胃内容物の摘出を行った。観察の結果、胃内容物は1~2cm程度の小石や砂利、さらに草本の破片・木の実・魚類の硬組織等を含んだ消化物、未消化の魚類およびその肉片の3つに大別され、それぞれについて重量を測定した。未消化の魚類については外部形態の観察から同定を行い、同定出来なかった魚体・肉片は不明魚として取り扱った。
3. 重量測定結果 観察から12種類の魚類が同定され、その重量計測結果は表1の通りとなった。両コロニー周辺で出現頻度が最も高かったものはウグイであり、ついでフナ・コイ類であった。ウグイは河川での資源量が比較的多いため、出現頻度にも影響しているものと考えられた。

[成果の活用面・留意点]

1. 県市町村・漁協における鳥獣被害防止計画等に活用する。
2. カワウの捕食金額を推定する際のデータとして活用する(平成28年度新しい技術の試験研究成果:(政)県内コロニー周辺におけるカワウ捕食金額の推定参照)。

[具体的なデータ]

表 1 両コロニー周辺で駆除されたカワウ胃内容物調査結果

須川コロニー周辺

採集年月日	個体	胃重量(g)	胃内容物重量(g)	内容物のうちわけ(g)												
				小石・砂利	その他消化物	ウグイ	フナ・コイ類	カラムツまたはオイカワ	タモロコ	オオクチバス	ギギ	カワヤツメ	ナマス	不明魚		
2016.3.16	1	54	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
2016.3.10	2	67	5	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.3.8	3	36	6	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.3.10	4	204	150	-	60	85	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-
2016.3.28	5	240	142	-	30	-	65	-	-	47	-	-	-	-	-	-
2016.3~5	6	174	103	-	-	-	6	-	-	-	97	-	-	-	-	-
2016.3~5	7	105	60	-	17	7	-	-	-	-	-	30	-	-	-	6
2016.3~5	8	76	29	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.3~5	9	144	50	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	36	-	12
2016.3~5	10	89	52	-	32	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.3~5	11	42	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.3~5	12	62	28	6	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.5.8	13	54	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
2015.5.22	14	53	17	-	12	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2016.5.10 ^{※1}	15	NA	NA	NA	NA	161	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA	NA
計						273	76	3	2	47	97	30	36	29		
魚類に占める割合						46%	13%	1%以下	1%以下	8%	16%	5%	6%	5%		

※1: 吐き出しサンプル - は試料中に認められなかったこと、NAは分析不能だったことを示す

水窪ダムコロニー周辺

採集年月日	個体	胃重量(g)	胃内容物重量(g)	内容物のうちわけ(g)												
				小石・砂利	その他消化物	ウグイ	フナ・コイ類	カラムツまたはオイカワ	ヨシノボリ類	マス類 ^{※2}	カジカ	不明魚				
2016.5.18	1	171	108	3	60	13	5	-	-	-	-	-	-	-	27	-
2016.5.18	2	139	100	35	26	14	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-
2016.5.18	3	124	57	25	22	32	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-
2016.5.18	4	96	69	14	21	-	-	-	-	17	-	-	-	-	-	-
2016.5.18	5	93	69	14	30	11	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-
2016.5.18	6	51	9	4	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	7	51	38	-	14	6	14	-	4	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	8	69	37	-	19	12	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	9	50	17	-	14	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	10	53	20	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	11	96	30	-	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	12	50	11	-	5	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2015.5.15~18	13	123	72	5	54	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計						107	25	4	3	17	16	43				
魚類に占める割合						50%	12%	2%	1%	8%	7%	20%				

※2: 詳細魚種の同定不可 - はサンプル中に認められなかったことを示す

[その他]

研究課題名：カワウ・外来魚等対策事業
 予算区分：県単
 研究期間：平成 28 年度（平成 27～28 年度）
 研究担当者：鈴木悠斗
 発表論文等：なし